

平成27年度 北海道・東北ブロック研修会

兼 青森県支部全体研修会 アンケートのまとめ

26名提出

日時 平成27年10月4日(日)
演題 「21世紀の教師に求められるもの
—子どもたちひとりひとりに学びの伸びがあるようにする指導とは—」
講師 ニューヨーク州認定スクールサイコロジスト
早稲田大学大学院, 東京家政大学大学院非常勤講師
バーンズ亀山静子 先生

1. 本日の研修についてのご感想、ご意見をお聞かせください。

- 子どもとの関わり方の視点について学ぶことができた。特に実行機能については、子どもの行動理解のツールとして活用したい。
- 写真が多数紹介されて、興味深かったです。
- ABC分析の仕組みが勉強になりました。私のクラスにも問題行動が多い子、学習が定着しない子がいて、やはり私の中では、まだ仮説段階だったことに気付きました。その子の機能が何なのかを割り出し、適切な対応をとっていけるようにしたいです。どの子の学びも保障するのが私たちの仕事なのだと言われ、目が覚めた思いです。
- 歯切れのよいわかりやすいお話とても参考になりました。演習やお話から自分はずい分“思い込み”があることに気付きました。今まで自分が思い込みで判断していることにも気付きませんでした。だから「そうか…」と目からウロコでした。不適切な行動を目の前にした時、事実と解釈をしっかりとらえていかなくては…と思いました。“定時に帰れるように”というテーマすごくいいなと思います。自分で抱え過ぎないで、自分にも子どもにとってもベターな方法を考えて、仕事にも取り組んでいきたいと思います。
- “定時に帰るには？”がとても納得できました。困った状況の子に周りの人がいつまでも手を貸し続けることはできない。手を貸してくれる人がいつもそばにいるわけでもない。子どもが自律できるように、日々、それを自分に問うていい方法を考えたいです。
- 「UDL」「実行機能」など、とてもわかりやすく、すぐに役立つお話でした。今日参加して本当によかったです。ありがとうございました。
- 子どもの行動の原因について深く考えるよいきっかけとなりました。講話の中でのバーンズ先生の質問がとても難しかったので、かなり頭を使いました。
- 貴重な機会をいただき感謝しています。現場の先生方に今日聞いたことを広めていきたいと思いますが、その広め方が自分自身の課題です。よく理解できたかどうか、自分でもあやふやなものは伝わらないと思うので、今後も頑張って勉強したいと思います。
- とても満足できる内容でした。教師だからできるアセスメント、大切にしていきたいですし、大切にしよう、また先生方に呼びかけていきます。
- 硬くなった脳を取り出し、ほぐして、また戻していただいた気分です。発想の転換ができました。ありがとうございました。自分の受けてきた教育システムからなかなか抜け出せないとのことですが、日本ではなかなか変化する起爆剤がないように思います。いろいろな特性の子どもたちが生かされる社会になるよう、学びのユニバーサルデザインが、もっと広がっていけばいいなと思いました。まずは自分でできることから、今日学んだことを取り入れていきたいと思います。
- とても興味深いお話ばかりで、大変勉強になりました。1日でしたが、もっと細かくたくさん聴きた

いとも思いました。充実した研修会でした。

- 要項にもありましたが、目からウロコの研修でした。一言一句もらさず書いておきたいと思い、実際書けるだけ書いた講演でした。具体的な例も交えて提示してくださったので、難しいこともわかりやすく理解しやすかったです。
- 私が関わっている不登校の児童生徒のことを思い浮かべながらお話を伺いました。適切な支援のためのアセスメントを心がけていますが、新たな視点として、「実行機能」の成熟も合わせていきたいと考えています。本日はありがとうございました。
- 「実行機能」の部分のお話を聴いて、自分の学級の数人の子の顔が浮かびました。明日からの実践に向け、しっかりまとめ、取り組んでいこうと思いました。また、足りない部分は今後の研修で学ばせてもらえたらと思います。
- 初めての学会参加で、もりだくさんすぎて、帰ってから日々ゆっくりかみしめながら、生徒に向かっていきたいと思います。忙しい中、このような会を企画していただきまして、ありがとうございました。
- 通常の学級にいる気になる子、その多くが発達障害の傾向にあり、対応や支援には専門的な知識・技能が必要なのではないかと尻ごみしがちですが、実行機能の強化という観点からのアプローチならば、より多くの先生方が取り組める！！と勇気づけられました。
- 日常の勤務や行動していることを見直す機会となり、有効でありました。特に「生きる力のための確かな学力」や「生きる力のための豊かな人間性」は、自分の考え方の整理に役立ちました。実行機能については、応用を深めたいと考えました。今後活用させていただきたいと存じます。
- 実行機能というのを初めてお聞きしました。(不勉強でお恥ずかしいことですが…) 今後、勉強して役立てていきたいと思います。今日はありがとうございました。
- 今日は実行機能についてや、アメリカの教室の様子などを知ることができました。実行機能でつまづいている生徒も多くいることに気づくことができ、本人のためにならない指導方法をしてしまっていたと思った部分も多くありました。今回の研修で何度も問われた、どんな生徒になってほしいか、ということを考えながら、これからの指導に生かしていけるようにしたいと思いました。
- 海外の教育と日本の教育の違いについてお話くださり、海外の教育は非常に受容的でオープンで良いなと思いました。また、事実と解釈についてのお話でも、私たちの解釈・意味づけで、子ども達の性質を思い込んでしまわないようにしなければと思いました。私たちが自由に考え、発言する機会が多く、講演内容は即現場に生かせることばかりで、大変ためになりました。ありがとうございました。
- 本日の研修会では具体的な対応について勉強することができ、明日からの指導へつなげていきたいと思いました。毎日、生徒の指導・支援についての記録をとり、毎月、今月の評価・来月の目標を考えています。しかし最近では、どのように評価・目標を立てていったらいいのか悩むところがありました。今回の研修では、エビデンスに基づいた方法で行うことを知ったので、生徒の実態をよく見て、そこから支援の工夫を行っていけばいいのだと考えました。
- 「特性に応じた指導・支援」と聞くと、今まではぼんやりとしたイメージでしたが、実行機能の話聴いて、イメージがつきやすくなりました。発達障害の有無にかかわらず、実行機能やABC行動分析の観点から、今までの自分の子どもへの関わり方を見つめ直したいと思います。また、アメリカの教室環境や教材・教具がとても参考になりました。ぜひ、自分も取り入れていきたいと思います。
- アメリカのUDLについて詳しく研修でき、大変参考になりました。バーンズ先生の講演、楽しく聴かせていただきました。
- 大変勉強になりました。特に、実行機能についてや、それらをカバーするための学習の工夫などは、自分の学級の子どもの様子を思い浮かべながら、興味深く聴くことができました。教室内で使えるようなものがたくさんあったので、使えるものはどんどん使っていきたいと思いました。
- 先進国の様子がわかってよかった。やっぱり日本は遅れていると思う。
- アメリカの教育と日本の教育でも似ている所が多くあることがわかった。応用できそうなものもあれ

ば、アメリカならではだと思えるものも多かった。多くの写真があったので、参考になりそうなものを選び、活用できそうだと感じた。勉強不足だったので、わからない言葉が多く、少し難しく感じたが、勉強になった。

○みんな違うことはわかるが、日本の学校の実情では無理があるのかなと思った。教員の意識を変えていかなければ個別の対応は難しいと考えた。

2. 来年度の研修の持ち方や講師についてのご希望がございましたら、お聞かせください。

○具体的でとてもわかりやすかったです。

○よくわかりませんので、次回も参加したいと思います。

○これからもいろいろな講師の先生のお話を聴いて勉強したいです。

○海外（特にアメリカ）の教育事情の話もたくさん聴けてとてもよかったです。

○ピアサポートについての研修会をお願いしたいです。本ばかり読んでもイマイチなので、具体的に教えてほしいです。

○今日聴けなかった残りの部分についても、またお聴きしたいです。

3. その他事務局へのご意見、ご希望がございましたらお書きください。

○お茶、りんご美味しかったです。ごちそうさまでした。

○お茶やお菓子、りんご等の温かいおもてなしも嬉しかったです。

○いつもありがとうございます！準備、運営ご苦労様でした！これからもよろしくお願ひします。

○素晴らしい講演を設定してくれた事務局に感謝しています。

○準備・運営等いつもお疲れ様です。

○すばらしい学びができました。ありがとうございました。

○また研修したいです。

○大変お世話になりました。

○一日がかりの研修会、じっくりと参考になりました。どうもありがとうございました。

○参加させていただき、ありがとうございました。

○運営ありがとうございました。またの研修会を楽しみにしています。

○バーズ先生の貴重なお話を聴けてとても嬉しく思います。本当にありがとうございました。

○実りある研修をいつもありがとうございます。また機会があれば参加します。